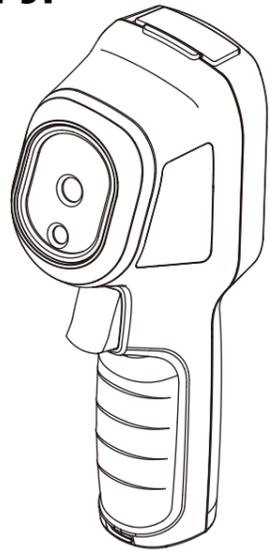


サーモキャプチャー IR THG-02-JP



取扱説明書

この度は弊社のサーモキャプチャー IR をお求め頂きまして誠にありがとうございます。
本器をご使用になる前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご使用ください。
なお、お読み頂きました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

保証書

株式会社 **カスタム**
インクス

保証規定
本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。
1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
a 不適当な取扱い、使用による故障
b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
d その他当社の責任とみなされない故障
e 消耗品および付属品の故障

型番	THG-02-JP	シリアルNo.	
保証期間	年 月 日	より	1カ年
お客様	お名前	様	
	ご住所		
	電話番号		
販売店	住所・店名		

販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

発売元 **因幡電機産業株式会社**

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-11-14
TEL. 06(4391)1990 FAX. 06(4391)1753
https://www.inaba.co.jp/jappy/

製造元 **株式会社 カスタム**

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
TEL. 03(3255)1117 FAX. 03(3255)1137
https://www.kk-custom.co.jp/

安全上のご注意 必ずお守りください。

警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
注意	人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

警告

- 指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わないでください。
- 故障が疑われる場合は使用をおやめください。
使用前に亀裂、破損等の異常がないかを十分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
- 危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しないでください。
重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 本器を加熱したり火中に投入したりしないでください。
内蔵充電電池の破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- 本器内部にはリチウムイオン充電電池が内蔵されています。本器をそのまま廃棄すると、内蔵充電電池の破裂・発火や重大事故を引き起こしたりする恐れがあります。
本器を廃棄する場合は、各自治体の指示に従い、適切に廃棄してください。
- 本器を絶対に分解しないでください。
修理が必要な場合は、購入された販売店にお問い合わせください。

	本製品に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。 製品を廃棄する際は、充電式電池の取り外しはお客様が行わず、各自治体の指示に従ってください。
	詳細については一般社団法人 JBRC のホームページをご覧ください。 ホームページアドレス https://www.jbrc.com
	本製品の使用電池：リチウムイオン電池 公称電圧、容量：DC 3.7V、3350mAh 数量：1本
警告	漏液、発熱、破裂の原因となるので以下の事はしないこと。 ・短絡 ・分解 ・水没 ・火中への投下

注意

- 極端な温度変化のある環境でのご使用は結露の原因になりますので注意してください。
- 冬季の使用では、本体の温度低下により応答速度が遅くなる場合があります。
また電池の消耗が常温での使用に比べて早くなります。
- 使用温湿度範囲を超える環境でのご使用や夏季の車内での放置はおやめください。
- 直射日光の当たる場所に置いたり、暖房器具などの周辺で使用したりすると本体のプラスチックの変形・故障の原因になります。
- レンズを太陽や強い光源に向けてください。
センサーが破損する恐れがあります。
- 本器は完全防水構造ではありません。故意に水をかけたりしないでください。
- お手入れの際は乾いた柔らかい布で本体を乾拭きしてください。
水に濡らしたり、洗剤や揮発性の溶剤のご使用は避けてください。
- レンズが汚れていたり、傷が付いたり、異物が付着すると誤動作の原因となるのでご注意ください。
- レンズ部を強い力で擦らないでください。反射防止膜を傷つける恐れがあります。
- 保管する場合や輸送する場合には、ケースに収納してください。
- 本器を子供に使わせしないでください。
- 使用中や充電中に本器やACアダプタが温かく感じる場合があります。
長時間の接触による低温やけどに注意してください。
- 本器は国が定める輸出貿易管理令および外国為替令の輸出に関するリスト規制品目に該当します。輸出に際しては事前に経済産業省への許可申請が必要になりますのでご注意ください。

製品の概要

- 赤外線カメラによる熱画像とデジタルカメラによる可視画像の2種類の画像を同時撮影可能な赤外線サーモグラフィです。
- ハンドグリップタイプで持ちやすくコンパクトで使いやすい。
- 50° の広角レンズと25Hzの高フレームレートで画面を更新することで測定対象の熱分布を広範囲にかつ滑らかに表示します。
- オートスリープ、オートパワーオフ機能搭載で充電回数を低減しバッテリーの負担軽減、ロングライフ化。
- Enhanced IR機能によるアップスケーリング処理で熱画像の解像感を向上。

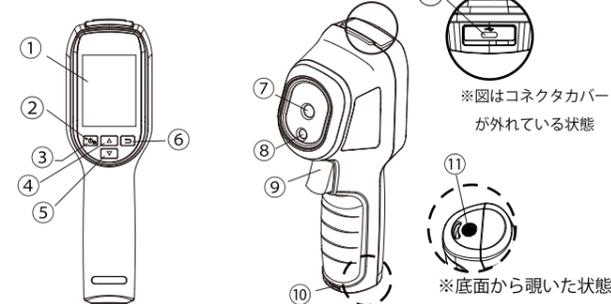
製品仕様

赤外線センサー	96×96 ピクセル
測定波長	7.5 ～ 14 μm
温度測定範囲	-20 ～ +150℃、+100 ～ +550℃
温度測定精度	±2%rdg または ±2℃の大きい方
測定温度分解能 (NETD)	0.05℃ (50mK)
最小表示単位	0.1℃
測定視野角	50° ×50°
瞬時視野角 (IFOV)	8.89 mrad
フォーカス	固定
最短合焦距離	0.1m
フレームレート	25Hz
表示器	2.4 型 LCD 240×320
画像モード	熱画像 / 可視画像 / ピクチャーインピクチャー画像 / フュージョン画像
画像フォーマット	静止画: JPEG 熱画像 (240×240) 可視画像 (480×640) 動画: MPEG4 (240×240)
ストレージ	4GB 内蔵ストレージ ※1 熱画像保存可能枚数: 約 18000 枚
インターフェース	USB TYPE-C コネクタ
三脚穴	穴径 1/4 インチ (約 6mm)
本体寸法	約 H196×W59×D78mm
本体重量	約 285g
保護等級	IP54
落下耐性	2m(工場出荷時)
バッテリー	リチウムイオン充電電池 3.7V 3350mAh
連続使用可能時間	約 8 時間 ※2
オートスリープ	機能オフ / 1 分 / 2 分 / 5 分 / 10 分
オートパワーオフ	機能オフ / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 40 分 / 50 分 / 60 分
使用温湿度	-10 ～ +50℃, 10 ～ 90% RH (但し、結露なきこと)
保存温湿度	-20 ～ +70℃, 10 ～ 90% RH (但し、結露なきこと)
付属品	取扱説明書、ソフトキャリングケース、USB ケーブル、ストラップ

本器及びアプリの仕様及び外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。
※1 ストレージ内には本器のシステムファイルが含まれるため実際に画像保存先として使用可能な容量は少なくなります(約2.3GB)。
※2 使用頻度、使用状態によりバッテリー連続使用可能時間は短くなります。

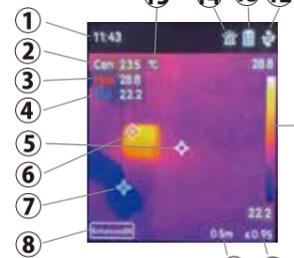
各部の名称

製品本体



名称	説明
① 画面表示部	画像、メニュー表示
② 充電インジケータ	赤色点灯：充電中 緑色点灯：充電完了
③ 電源ボタン	電源 ON - OFF、設定メニュー、項目決定、トグルボタン ●切替
④ 「▲」上ボタン	画像モード変更、選択項目の送り
⑤ 「▼」下ボタン	カラーパレット、ゾーン表示の変更、選択項目の送り
⑥ 戻るボタン	変更の確定、項目を戻る
⑦ 赤外線カメラ	赤外線センサー受光部
⑧ 可視光カメラ	可視光センサー受光部
⑨ トリガーボタン	表示中画面のキャプチャ、設定メニューの終了、動画撮影
⑩ ストラップ取付け穴	付属のストラップ取付用
⑪ 三脚穴	穴径 1/4 インチ (約 6mm)
⑫ USB Type-C コネクタ	充電、データ転送用 USB ケーブル接続口

基本画面表示



①	時刻表示
②	画面中心温度
③	最高温度
④	最低温度
⑤	画面中心アンカー
⑥	最高温度地点アンカー
⑦	最低温度地点アンカー
⑧	Enhanced IR オン表示
⑨	距離設定
⑩	放射率設定
⑪	カラーバー
⑫-1	PC 接続 USB ドライブ
-2	PC 接続 画面キャスト
⑬	バッテリー残量
⑭	アラーム機能 ON
⑮	温度単位 ※「℃」固定

動作中の自動温度補正

本器は測定精度と温度分布表示を最適化するために、定期的に内部補正を実行しています。補正中は画面下に「画像を校正中」と表示されるとともに「カチッ」という音がしますが正常な動作音であり異常ではありません。

使用方法

電源の管理

充電方法

本体上部のコネクタカバーを開けて付属のUSBケーブルの マーク側をUSB Type-Cコネクタに接続し、もう一方(,) マーク側)を充電器やPCのUSBポートに接続して充電します。充電中、電源ボタンの充電インジケータは赤く点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。また、画面右上のバッテリー残量表示は アイコンが表示され、充電が完了すると マークに変わります。

- ※他機との接続には付属品USBケーブルのご使用を推奨します。
- ※市販のType-C - Type-CのUSBケーブルはご使用できません。
- ※高速充電対応などの一部の充電器では充電できない場合があります。
- ※充電残量ゼロの状態から満充電までは約4時間かかります。

電源のオン・オフ

本器の電源がオフの状態から電源ボタンを 2 秒程度長押しすると画面に「THERMAL IMAGER」と表示され本器の電源が入ります。電源を切るには 1 秒程度電源ボタンを長押しします。「シャットダウン中」と表示されその後、自動的に電源が切れます

- ※画面がフリーズして操作不能になった場合は、電源ボタンを10秒程度長押しして一度、本器の電源を切り再起動してください。
- ※本体の電源がオフの状態でも充電中に電源ボタンを押して本体を起動する場合、以下のように接続先によって動作が異なりますのでご注意ください。
ACアダプタの場合：ボタン短押しで起動
PCのUSBポートの場合：ボタン短押しで充電状態表示、長押しで起動

オートスリープ・オートパワーオフ

本器にはバッテリーの消費を抑えるための節電機能が用意されています。

① オートスリープ機能

一定時間操作がないと自動的に画面を消灯し待機状態に入ります。いずれかのボタンを押すと待機状態から復帰します。

設定可能時間：機能オフ/1分/2分/5分/10分 (出荷時:5分)

② オートパワーオフ機能

一定時間操作がないと「まもなくシャットダウンします」と表示され、直後に自動的に電源をオフします。通常の電源オン動作にて復帰します。

設定可能時間：機能オフ/10分/20分/30分/40分/50分/60分 (出荷時:20分)

(注意)

①と②がともに機能オンの場合は、①の設定時間経過後に待機状態に入り②の設定時間経過後に自動的に電源が切れます。

設定メニュー画面の基本操作

1. 電源ボタンを押して設定メニューを開きます。
※次頁「●」は設定メニュー直下に表示される設定項目です。
2. 設定内容を確認したり、設定内容の変更を行います。
3. トリガーボタンを押して設定メニューを終了し通常画面表示に切り替えます。

オートスリープ・オートパワーオフの設定方法

設定メニューを開き▲/▼ボタンで「詳細設定」を選択し、電源ボタンを押して詳細設定画面に移ります。▲/▼ボタンで①、②を選択した状態で電源ボタンを押すとラジオボタンが表示されるので▲/▼ボタンで設定したい時間を選択して電源ボタンを押して確定すれば設定完了です。

表示設定

画像モード

本器では状況に合わせて4つの画像モードが用意されており、「▲」ボタンで切り替えて選択します。

熱画像 (サーマル)		赤外線画像を表示します。
フュージョン (融合)		赤外線画像と可視画像を重ねて表示します。
ピクチャーインピクチャー (PIP)		中央矩形部のみフュージョン画像を表示します。
可視画像 (可視光)		可視画像を表示します。

●パレット(カラーパレット、ゾーン表示)

6種類のカラーパレットと3種類のゾーン表示機能が用意されています。「▼」ボタンを押して適切な表示に切り替えます。設定メニュー→「パレット」からも変更することができます。

◆カラーパレット

カラーパレットは以下の6種類から選択できます。ブラックホット、レッドホット、サンセット、アイアンボウ、レインボー、ホホワイトホット

◆ゾーン表示

ハイゾーン・・・上限温度を設定。設定温度より高温のエリアが**赤く**表示されます。ローゾーン・・・下限温度を設定。設定温度より低温のエリアが**青く**表示されます。ミドルゾーン・・・上限、下限の温度を設定。上下限間の温度エリアが**黄色**で表示されます。

- ※ゾーン表示のしきい値は設定メニュー→パレットの各ゾーン項目で設定可能です。

●Enhanced IR

Enhanced IR機能をオンにすると96×96サイズの赤外線センサーの熱画像を240×240サイズのセンサー画像相当に高解像度化して表示します。



ON/OFFの方法

設定メニューで▲/▼ボタンで「Enhanced IR」の項目を選択し電源ボタンを押す度にON 🟢 とOFF 🟡 が切り替わります。

- ※ 機能ON中は画面左下に「Enhanced IR」と表示されます。

●レベルスパン(カラーバー 上下限温度の調整)

測定対象の温度範囲が分かっている場合などはカラーバー（基本画面表示:①）の上下限温度をマニュアルで調整することで、測定対象に合わせた温度範囲での色分布表示にすることができます。この調整により測定範囲内にある、より高温や低温の物体の影響を低減したり、測定対象面のより詳細な色分布表示が可能になります。

温度のマニュアル調整方法

設定メニューで ▲/▼ボタンで「レベルスパン」の項目を選択し電源ボタンを押すと設定モードの変更画面に移ります。この画面で電源ボタンを押して、「自動」を「マニュアル」に切り替えます。「マニュアル」に切り替えると「カラー温度スパン調整」が表示されるので温度をマニュアル調整する場合は▼ボタンで選択後、電源ボタンを押して温度数値の変更画面に移ります。

温度のマニュアル調整画面では、電源ボタンを押す度に画面右側カラーバーの上下限温度横の南京錠アイコンが以下①～④のように切り替わります。必要な条件①～④の状態にして▲/▼ボタンを押して温度を変更してください。

- ①上: 下: 上下限の温度差を保ったまま上下限温度の変更
- ②上: 下: 上限温度ロック中のため下限温度のみ変更
- ③上: 下: 下限温度ロック中のため上限温度のみ変更
- ④上: 下: 上下限温度ロック中のため温度変更不可

●画像設定

色分布(リニア、ヒストグラム)　※工場出荷時:ヒストグラム

小さい領域の温度異常箇所を発見しやすくするため、熱画像に対する2種類の色分布モードが用意されています。設定メニューの「画像設定」から「色分布」を選択し▲/▼ボタンで選択後、電源ボタンで確定します。

ヒストグラム

高温領域が強調されますが、他の低温領域についても色分布表示が保たれるため低温の異常箇所発見に適しています。

リニア

高温の領域がより強調されるため、より小さい高温領域の異常箇所発見に適しています。

温度測定

本器は物体表面から放射される赤外線をセンサーで検知して温度に換算し画面上に表示します。

測定パラメータの設定

適切な測定パラメータを設定して測定温度の精度を向上させます。

●距離

実際の測定距離に合わせて「距離」の値を調節することで測定温度の補正とフュージョン画像の視差補正が行われます。設定メニューから▲/▼ボタンを押して「距離」に合わせ電源ボタンを押して確定したのち▲/▼ボタンで距離の値を変更します。視差補正は表の距離レンジの切り替わりと連動して行われます。

距離の値
0.1m -0.3m
0.4m -0.7m
0.8m -1.2m
1.3m 以上

●放射率

設定メニュー内の「放射率」を選択し、プリセットされた放射率の一覧から選択するか、「カスタム」を選択して「放射率」が表示されたら▼ボタンでカーソルを移動し電源ボタンを押して確定。▲/▼ボタンで任意の放射率を設定できます。

●温度範囲

設定メニュー内の「温度範囲」を選択すると温度範囲の選択画面が表示されます。▲/▼ボタンで以下のいずれかに合わせて電源ボタンを押して確定します。

- ① -20～150℃　② 100～550℃　③自動切り替え
- ※共通範囲の100～150℃の範囲では①がより正確です。

●中心照準モード

測定エリアの中心温度が画面中央に大きく表示され非接触温度計のように使用できます。設定メニュー内の中心照準モードを選択した状態で電源ボタンを押すとON/OFFが切り替わります。

モードON状態: 🟢

- ※ 本モードでは最高・最低温度の表示、アンカーおよび後述のアラーム機能が使用できません(設定項目から消失)

●アラーム　※中心照準モード時は使用不可

しきい値となる温度を設定しておくことで、測定中の画面内でしきい値温度を超えた場合に画面上でお知らせします(※アラーム音は鳴りません)。アラーム機能作動中は画面右上に「🔔」マークが表示されます。

しきい値温度の設定

- ① 設定メニュー内の「アラーム」を選択します。
- ② 「アラーム設定」画面にて電源ボタンを押して有効 🟢 にします。(もう一度押すと無効になります)
- ③ ▲/▼ボタンで「測定」を選択し電源ボタンを押して「以上」「以下」を切り替えます。
- ④ ▼ボタンで「アラーム閾値」を選択し電源ボタンを押します。
- ⑤ ▲/▼ボタンを長押しして設定温度まで数値を送ります。

温度アラーム表示

温度が設定した温度を超えると画面左上のMax温度 or Min温度 と画面右上のアラームアイコン「🔔」の色が変わってお知らせします。

- しきい値温度以上：赤色 Max 80.0 🔔 (例:80℃以上)
- しきい値温度以下：青色 Min 20.0 🔔 (例:20℃以下)

●静止画撮影

表示中の画面をキャプチャーし本体ストレージ内に静止画として保存することができます。(保存可能枚数: 240×240ピクセルのJPEG画像を約18000枚)

赤外線カメラで撮影された画像は各画素ごとの温度情報を持っており可視光モードで撮影された可視画像においても同様です。(※ 熱画像の補助画像として撮影された可視画像には温度情報は含まれません。可視画像保存のON/OFF欄参照。)

●キャプチャモード(撮影方法)

通常静止画撮影:
トリガーボタンを押して離れた瞬間の画面をキャプチャーし画像保存します。
※画面下部に「キャプチャーに成功しました。」と表示されます。

スケジュール撮影:

設定すると一定の間隔、指定の回数で自動撮影します。トリガーボタンを押して撮影開始します。

(設定方法)

設定メニューの「キャプチャモード」から「スケジュール撮影」を選択し、撮影間隔と撮影回数を設定します。

設定可能撮影間隔:　5秒～23時間59分59秒
設定可能撮影回数:　2～10000回
を設定してください。設定後は通常画面に戻りトリガーを引くと間隔秒数のカウントダウンと撮影回数が表示され撮影が始まります。撮影が完了すると自動で撮影が終了しますが、撮影中に▲/▼ボタン以外のボタンが押されるとその時点で撮影は中止されますのでご注意ください。

- ※このスケジュール撮影中は、オートスリープ、オートパワーオフの機能は無効になり、撮影完了時点から機能します。

可視画像保存のON/OFF

熱画像を含む画像モード(サーマル、融合、PIP)での撮影時に、同時に可視画像を保存することができます(不具合箇所の位置特定補助用途など)。

- ※この機能により保存された可視画像ファイルには各画素の温度情報は付帯せず、ファイル名には以下のように「VIS」が付きます。
IMGxxxxxxxxxxxxx.VIS.jpeg
※可視画像モードで撮影された可視画像には付きません。

設定方法

設定メニューの「キャプチャモード」から「可視画像を保存」を選択した状態で電源ボタンを押し、ON 🟢 とOFF 🟡 を切り替えます。

動画撮影

通常使用時にトリガーボタンを2秒程度長押しすると動画撮影が開始されます。撮影開始後、画面下部に撮影時間が表示されたらトリガーボタンをリリースします。もう一度トリガーボタンを押すと録画が終了し動画ファイル(.mp4)がアルバム内に保存されます。

- (注意)
・録画中は画像モード、カラーパレットの変更はできません。
・録画中に電源ボタン、戻るボタンを押すと録画が終了します。
・長時間の動画ファイルは一定のファイル容量で自動的に分割保存されます。
・動画データには各画素の時系列温度情報は含まれません。
・録画中は、オートスリープ、オートパワーオフ機能は無効になります。

●アルバム(保存された静止画・動画ファイルの表示と削除)

保存されたファイルは設定メニューの「アルバム」内で自動的に月別のフォルダに分けて保存され、フォルダ内では新しいファイルから順番に上から並べられています。フォルダを開き▲/▼ボタン+電源ボタンでファイルを選択、電源ボタンで確定してファイルを開きます。

ファイルは以下のネーミングルールで保存されています。
ファイル名：IMG20241001153040.(VIS)_拡張子
西暦_日付_時刻_秒

表示されるファイルは▲/▼ボタンで1つずつ表示を送ることができます。静止画ファイルを削除する場合は、画像を表示中に電源ボタンを押し「ファイルを削除しますか?」と表示されるので「OK」を選択して再度電源ボタンを押すとファイルが削除されます。

動画ファイルの再生と削除

動画ファイルを開いた状態で電源ボタンを押すと操作メニューが表示され、もう一度電源ボタンを押すと動画が再生されます。動画ファイルを削除する場合は操作メニュー表示中に▲ボタンを押すと「ファイルを削除しますか?」と表示されるので「OK」を選択して電源ボタンを押すと削除されます。
(注意)再生中でもオートスリープ、オートパワーオフ機能は有効です。

PCとの接続
ファイル移動(USBドライブモード)
USBドライブモードでPCと接続中は撮影、アルバム内閲覧等はできません。

付属のUSBケーブルで本器とPCを接続することで本器がPCのUSBドライブとして認識されます。PCを操作してUSBドライブ内の「DCIM」というフォルダを開くと月別のフォルダに分けられてファイルが保存されているので選択してPC側へファイルの移動・コピーを行います。PCとの接続時に**本器の電源がONの場合**、USBモードの設定画面が表示されますが「USBドライブ」モードが選択されていればそのままPC操作が可能です。**本器の電源がOFFの場合**、自動的に「USBドライブ」モードとなりPC上で認識されていますのでそのままアクセスが可能です。

- ※PCとの接続には付属のUSBケーブルを使用してください。
- ※市販のType-A - Type-Cのケーブルを使用する場合はデータ転送が可能なものをご使用ください。※市販されている全てのケーブルでの動作は保証できません。
- ※**市販のType-C - Type-CのUSBケーブルには対応しておりません。**

画面共有表示(USBキャスト画面モード)

本器とPCをUSBケーブルで接続し本器の画面に表示されるUSBモードの選択画面で電源ボタンを押して「USBキャスト画面」を選択すると外部接続UVCカメラとして認識されWindows標準のカメラアプリなどで本器の画面をPC上でミラーリング表示できます。※PC側のアプリ仕様により利用できない・できなくなる可能性があります。

PC用ソフト

Windows PCで利用できる専用のソフトウェアが用意されています。このソフトウェアでは熱画像の編集・解析・レポートの作成等が行える他、PCとUSBキャスト画面モードで接続することでソフトウェア上で本体にて撮影中の熱画像をストリーミング表示・動画保存(温度情報付き・熱画像モードのみ)できます。ソフトウェアの詳細については下記の製品Webページを確認してください。

製品ページURL：https://www.kk-custom.co.jp/dth/THG-02.html

設定メニュー

●距離/放射率の画面表示

設定メニュー内の「距離/放射率の表示」のON 🟢 とOFF 🟡 を電源ボタンを押して切り替えることで画面下部に表示されている距離設定値と放射率設定の表示/非表示を変更できます。

本体情報の確認

設定メニュー→「詳細設定」→「本体情報」から以下情報の確認が可能です。

- ① ファームウェアのバージョン情報
- ② 本器のシリアル番号
- ③ ストレージの残容量/全容量

操作ログの保存

本器をご使用中に起きた不具合を操作履歴を残す機能です。

設定メニュー→「詳細設定」→「ログを保存」をON 🟢 にし続行OKを選択するとロギングが始まります。その後、この機能をOFF 🟡 にすると操作ログの保存が開始され1 0 0 %になると完了します。保存されたログデータはPCとUSBドライブモードで接続して本器にアクセスすると「log」というフォルダ内に保存されています。

ストレージフォーマット

設定メニュー→「詳細設定」→「ストレージのフォーマット」から本体内蔵ストレージを初期化できます。初期化すると保存されていたファイル、操作ログデータは失われ、保存可能ストレージ容量は初期状態に戻ります。このため、必要な画像データなどはPC等へ事前にコピーしておく必要があります。

- ※本器の内蔵ストレージ容量は4GBですが、同ストレージ内に本器のシステムデータも保存されているため、画像データの保存に使用可能な領域は初期状態で**約2.3GB**となっています。

デバイスの復元

設定メニュー→「詳細設定」→「デバイスの復元」を選択し「OK」を選択すると本器の設定を初期化(工場出荷)状態に復元することができます。以下表の項目が初期化されますが、日時設定や内蔵ストレージは初期化されません。

	工場出荷時設定	
設定メニュー	放射率	0.95
	距離	0.5m
	アラーム	OFF
	温度範囲	自動切り替え
	画像モード	フュージョン(融合)
	カラーパレット	アイアンボウ
	レベルスパン	自動
	Enhanced IR	ON
	色分布	ヒストグラム
	オートスリープ	5分
オートパワーオフ	20分	
キャプチャモード	1枚の画像を撮影	
ログを保存	OFF	
言語	日本語	
距離/放射率の表示	ON	
中心照準モード	OFF	

日時設定

設定メニュー→「詳細設定」→「時刻と日付」から12時間制/24時間制の切り替えや時間と日付を変更することができます。

※詳細設定画面のデフォルト表示では項目が表示されていません。

▲ボタンを押して項目を表示してください。

※時間や日付の変更後は戻るボタンで変更を確定してください。

言語設定

設定メニュー→「詳細設定」→「言語」から表示言語を変更することができます。言語選択画面にて▲/▼ボタンで選択し電源ボタンを押して選択確定すると表示されている言語が切り替わります。

※詳細設定画面のデフォルト表示では項目が表示されていません。

▲ボタンを押して項目を表示してください。

ファームウェアアップデート

機能追加や不具合修正が発生した場合、製品Webページにて更新用の最新ファームウェアを提供します。Webページ内の手順に従ってファームウェアアップデートを行ってください。